

## 使用廃止届出書

届出日を記入する。

令和〇年〇月〇日

代表者の氏名等を記入する。  
(代表権のない者(例えば工場長等)が届出する場合は、委任状の添付が必要)

押印は不要。

富山県知事    〇〇 〇〇 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名    〇〇県〇〇市〇〇 〇番地  
株式会社〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

該当するもの以外は、取り消し線を入れる。

ばい煙発生施設 (~~揮発性有機化合物排出施設、一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設、水銀排出施設~~) の使用を廃止したので、大気汚染防止法第11条(第17条の13第2項、第18条の13第2項及び第18条の36第2項において準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり届け出ます。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 (ばい煙発生施設 揮発性有機化合物排出施設 一般粉じん発生施設 特定粉じん発生施設 水銀排出施設)             </div> の別	ばい煙発生施設		
工場又は事業場の名称	株式会社〇〇 〇〇工場	※受理年月日	年 月 日
工場又は事業場の所在地	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇市〇〇 〇丁目〇番	※施設番号	
施設の種類	1項 ボイラー 1基 (施設番号 A-1)	同一種類の施設が複数ある場合、どの施設を廃止するかわかるよう、施設の番号や名称などを記入する。	
施設の設置場所	〇〇工場 〇〇棟〇階	または、「別紙のとおり」と記入し、対象施設の位置を示す図面を添付する。	
使用廃止の年月日	令和2年4月1日		
使用廃止の理由	老朽化のため		

該当するもの全てを記載する。

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

3 ばい煙発生施設、揮発性有機化合物排出施設、一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設又は水銀排出施設の別の欄は、該当するもの全てを記載すること。